



Title	＜図書紹介＞『英語英文学研究とコンピュータ』
Author(s)	齊藤, 俊雄
Citation	大阪大学言語文化学. 1992, 1, p. 146-147
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/78209
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

齊藤俊雄編『英語英文学研究とコンピュータ』英潮社、1992年、352頁、5800円

最近文科系の研究分野においてもコンピュータ利用の研究が盛んになってきたが、本書はコンピュータを利用している英語英文学研究者の寄稿論文集である。西欧ではこの種の論文集は多数刊行されているが、わが国ではこれが最初のものであろう。わが国におけるコンピュータ利用の英語英文学研究は、残念ながら西欧に比べて大変立ち後れているが、本書はこの分野における「コンピュータ利用研究の事始め」と言ったものになるように、またコンピュータ利用研究のモデルを提供するように意図したものである。

本書の構成を見ると、最初に編者による「コンピュータによる英語英文学研究序説」があり、この研究を始めるのに必要な基本的な情報―主として文献情報―が与えられている。論文の部分は「近代英語英文学研究」、「中英語英文学研究」、「古英語英文学研究」の3部に別れ、全部で15篇の論文が収録されていて、時代的にはアングロサクソン時代から現代にまで及び、分野的には語学研究もあれば、文学研究もある。具体的には、現代アメリカ英語の Brown Corpus のテキスト分析、小説の文体研究、作者不詳の戯曲の作者推定、欽定聖書英語の研究、中英語の統語法研究、OCP による古英語の Toronto Corpus の語彙研究などである。本学言語文化部教官の寄稿論文には、現在進行中の中英語韻文ロマンスのコンコーダンス編纂計画の現状報告（齊藤俊雄・今井光規）、CD-ROM 版 OED を検索した結果、完璧と考えられている OED にも想像以上に不統一やミスがあることを発見した貴重な報告（渡辺秀樹・岩根久）がある。なお巻末には Oxford Text Archive と ICAME の配布する機械可読英語テキストのリストがあり、便利である。

語学や文学のコンピュータ利用研究に関心を持っている者、或いはこれから始めてみようと考えている者には、この分野ではまだ日本語で読める手頃な案内書

がない現在、この論文集は時機を得た刺激的な一巻であろう。(齊藤俊雄²⁾)

² 言語文化部英語教育講座